

みずほCustomer Desk Report 2021/02/25 号 (As of 2021/02/24)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	105.42
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.30	1.2152	127.96	1.4121	0.7908
SYD-NY High	106.10	1.2174	128.86	1.4240	0.7973
SYD-NY Low	105.19	1.2109	127.85	1.4083	0.7896
NY 5:00 PM	105.84	1.2170	128.86	1.4143	0.7968

NY DOW	31,961.86	424.51	日本2年債	-0.1100	1.00bp
NASDAQ	13,597.97	132.77	日本10年債	0.1200	1.00bp
S&P	3,925.43	44.06	米国2年債	0.1240	1.42bp
日経平均	29,671.70	▲ 484.33	米国5年債	0.6013	3.25bp
TOPIX	1,903.07	▲ 35.28	米国10年債	1.3714	2.90bp
シゴ 日経先物	30,065	60	独10年債	-0.3060	1.45bp
ロンドンFT	6,658.97	33.03	英10年債	0.7320	1.65bp
DAX	13,976.00	111.19	豪10年債	1.6150	5.60bp
ハンセン指数	29,718.24	▲ 914.40	USDJPY 1M Vol	6.23	0.09%
上海総合	3,564.080	▲ 72.28	USDJPY 3M Vol	6.43	0.10%
NY金	1,797.90	▲ 8.00	USDJPY 6M Vol	6.73	0.13%
WTI	63.22	1.55	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
CRB指数	195.13	2.63	EURJPY 3M Vol	6.60	0.02%
ドルインデックス	90.18	0.01	EURJPY 6M Vol	7.02	0.11%

アジア	東京時間のドル円は105.30レベルでオープン。感染状況の改善を好感した投機的なボンドの続伸がクロス円の上昇をサポートし、ドル円も105.50台までじりじりと浮上。ただし前日のパウエル議長のハ派な発言を受けて米国金利が下げ渋っていることが上値を抑え、105.52レベルで海外に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は上昇。105.52レベルでオープン。米10年債利回りや欧州株が堅調に推移した事に加え、特段注目されるニュースが無い中上昇を続けていたボンドドルのボンド買いが一服した事を背景にドル円は値を上げ105.88レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は105円台前半でスタート。祝日明けの東京市場は日経平均株価が軟調に推移するものの、ボンドを中心にクロス円の上昇したことがサポート材料となり、105円半ばまで上昇。欧州市場では米長期金利上昇が意識され、円売りの流れにドル買い圧力が加わり、105.91まで上昇し、105.88でNYオープン。朝方は米金利が急上昇し、10年債利回りが約1年ぶりとなる1.43%台をつけるドル買いが強まり、一時106.10まで上昇。10時発表の1月新規住宅販売件数は予想を上回るも、市場の反応は限定的だった。その後、米金利上昇が一服したことや、米議会証言でパウエルFRB議長が緩和的な金融政策の維持を強調し、特段サプライズは見当たらなかったもののハ派な姿勢を見せる中、ドル買いが長続きせず、じりじりと105円台に戻す。午後は米株が上げ幅を拡大し、欧州通貨や資源国通貨に対してリスク志向のドル売りも同時強まったことからドル円は106円手前の狭いレンジでもみ合い、結局、105.84レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.21台半ばでスタートし、ユーロは対円で上昇するも、対ボンドでは軟調に推移する中、方向感に乏しいレンジトレードとなり、1.2157でNYオープン。朝方は米金利が急上昇する動きを眺め、ドル買いが強まり、一時1.2109まで下落。その後は、マイナスで寄りついた米株がプラス圏に浮上し、リスク選好ムードが強まったことや、米金利上昇一服がドル売り材料として意識され、1.2174まで反発。結局、1.2170レベルでクロス。

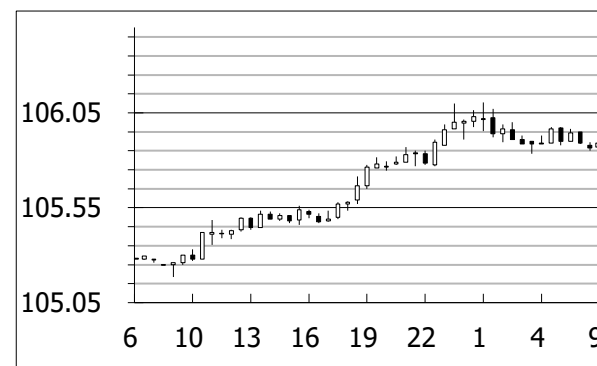
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月24日	16:00	独 GDP(前期比)・確報	4Q 0.3%	0.1%
2月25日	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 923k	856k
	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	「インフレ目標の達成には3年以上かかる可能性」	

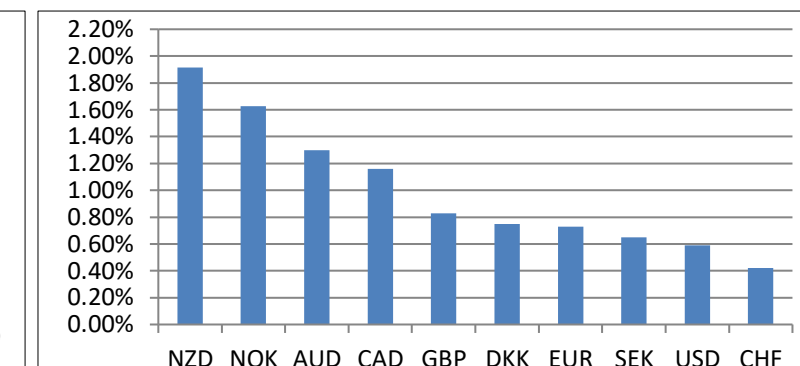
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
2月25日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月	-	-14.8
	22:30	米 耐久財受注/同(除く輸送用機器)前月比・速報	1月	1.1%/0.7%	0.5%/1.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	20-Feb	825k	861k
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q S	4.2%	4.0%
	22:30	米 個人消費	4Q S	2.5%	2.5%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q S	1.4%	1.4%
	23:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-	-
2月26日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月	0.0%	-0.3%
	00:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-	-
	01:10	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.60-106.40	1.2120-1.2220	128.40-129.40

【マーケット・インプレッション】

株高からリスクオンムードに伴うクロス円上昇、米金利上昇から金利差拡大を要因としたドル買いを背景に昨日のドル円はじりじりと上昇。しかし、パウエルFRB議長がハト派的なスタンスを示し金利上昇も一服すると、ドル円も上値重くなり105円台後半での推移となった。議会証言も特段サプライズなく通過し、コロナ収束期待が燦り、米長期金利上昇基調である中、106円台定着となるか注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	甲斐	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口		
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	大庭	上遠野	松本	逸見	大谷	小林	木村	鈴木	ブル	ベア
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	8	14